

主 論 文 要 旨

No.1

報告番号	甲 乙 第 号	氏 名	林イラン
<p>主 論 文 題 目： 韓国自治体における国際観光ネットワークに関する研究</p>			
<p>(内容の要旨)</p> <p>本研究は、1990年代以降の韓国自治体の国際観光ネットワークを①構造的特性、②ガバナンス特性、③形成過程の三つの側面から分析した。韓国自治体の事例を収集し、活動様態に関する特性を定量的に評価・測定し、ネットワーク形成過程に関する定性的研究を行った。</p> <p>第一に、韓国自治体が活動しているグローバルネットワークの現状をマクロの視点から構造的特性を明らかにした。10種の観光ネットワークを事例に用い、各事例から2010年から2014年までの会議参加データを獲得し、ネットワーク分析を実施した。世界51ヶ国169都市を対象にネットワークの基本属性、ブロックモデルを用いた地域間相互作用の特性、中心性分析について時系列に沿って分析を行った。自治体間の国際観光ネットワークは時間が経つにつれてネットワーク規模が大きくなり、地理的には北東アジアからグローバルなレベルまで成長していた。韓国の一部の自治体はネットワーク内で最も中心的な位置を占めており、各自治体が保有した力量や資源によってネットワークへの活動形態は多様であった。</p> <p>第二に、ネットワーク・ガバナンスの特性を明らかにするために、メゾレベルから組織間の関係を中心に分析を行った。公共と民間部門における多様な政策アクターが参加した釜山と福岡間の共同観光事業を事例に用いた。釜山側、福岡側、釜山・福岡間の三つのカテゴリにおいて導入期、計画策定期、執行期のネットワーク特性及びガバナンス類型を明らかにした。釜山は政策推進段階別にガバナンス構造に変化がなく、全時期にかけて、混合型ネットワークと中央集権型ネットワークのガバナンス特性を示した。福岡は政策推進段階別に異なるガバナンス類型を見せた。協力事業の導入期には、個別連携ネットワークの類型を示し、計画策定期には分散型ネットワークの特性を見せたが、執行期には混合型ネットワークを示した。釜山と福岡間の国境を越えたネットワーク・ガバナンスは全時期において個別連携ネットワークの類型を示した。</p> <p>第三に、ネットワーク形成過程の特性をミクロの視点から個別自治体の内在的要因を中心に明らかにした。韓国の自治体がリーダーシップを発揮し、国際的なレベルの観光ネットワークを創設した3事例を対象に推進要因、構造的特性、機能的特性について比較調査を行った。国際観光ネットワークの構造的、機能的特性において多少異なる特徴を示したが、ネットワークの推進要因及び創設を主導した自治体と常設事務局との関係、協力事業の内容などで類似した特徴が見られた。</p> <p>本研究は、これまで不足していた韓国自治体の国際観光ネットワークに関する現状や活動様態を実証的に明らかにしたと共に、今後のネットワーク戦略に必要な学術的・政策的な知見を提示した。</p> <p>キーワード：韓国自治体、国際観光ネットワーク、ネットワーク分析、観光政策、自治体間国際協力</p>			